

コスモ石油(株) 新・連結中期経営計画 07年度上期進捗状況と今後の方針

2007年11月7日

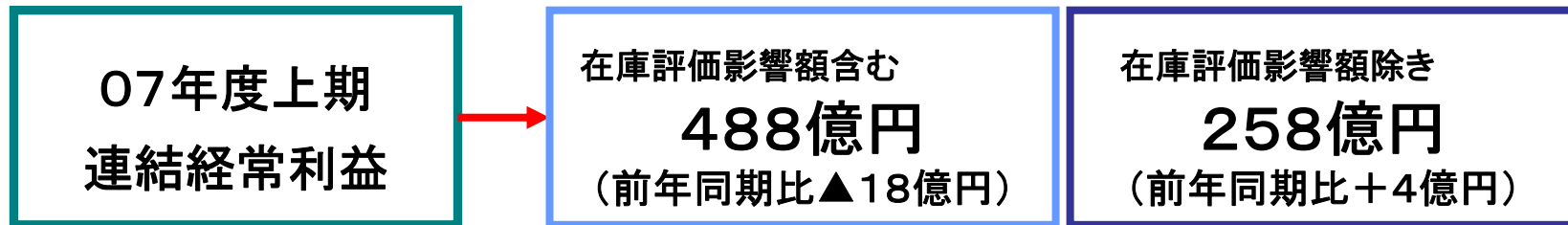
代表取締役社長：木村 彌一

常務取締役：近藤 直正, 宮本 諭

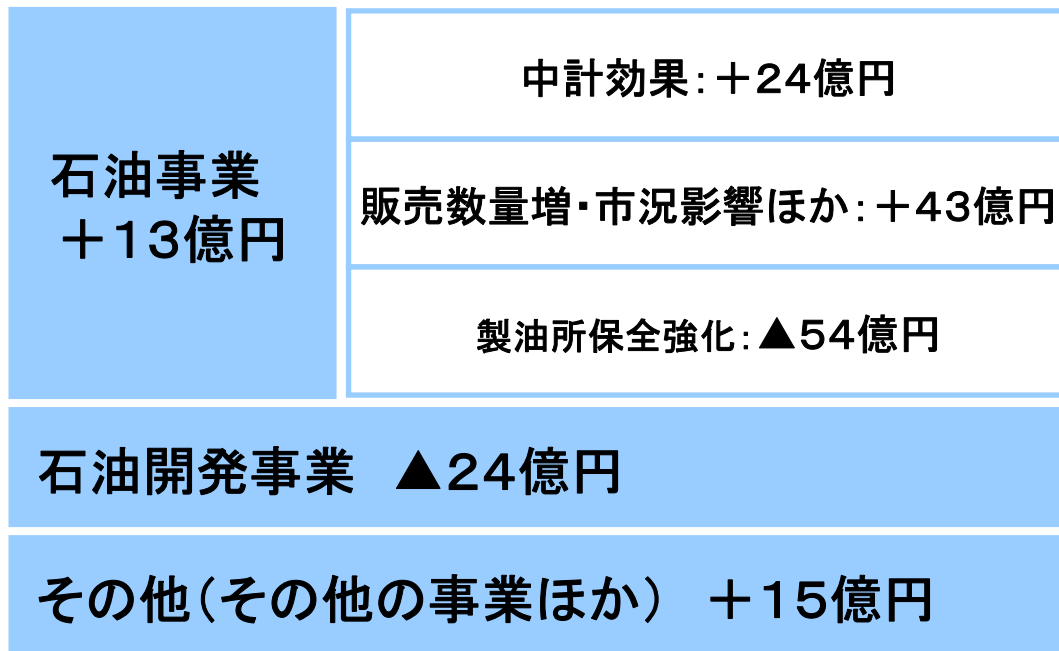
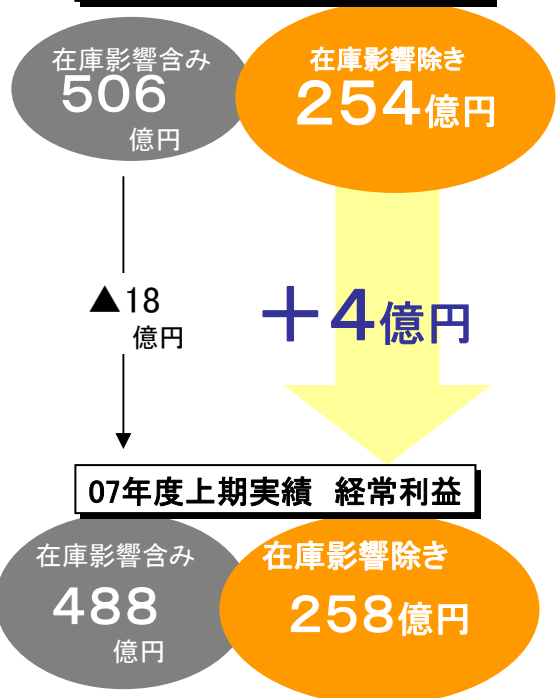
本日のご説明内容

	07年度上期決算総括と 下期(通期)基本方針	1~2 ページ	代表取締役社長 木村 彌一
中計の進捗	07年度上期 決算の概要	3~5 ページ	常務取締役 宮本 諭
	07年度通期 業績予想の概要	6~8 ページ	
	当社成長戦略について	9~14 ページ	常務取締役 近藤 直正

07年度上期決算総括



06年度上期実績 経常利益



2007年度下期(通期) 経営方針

中計施策の確実な実行

《石油単体》
付加価値向上
・合理化の推進

《石油開発》
生産量の維持・拡大

《石油化学》
ミックスキシレン事業

《CSR経営》
安全管理体制
企業倫理遵守の強化

06年度実績 経常利益

在庫影響含み
748
億円

在庫影響除き
720億円

+132
億円

▲90
億円

07年度予想 経常利益

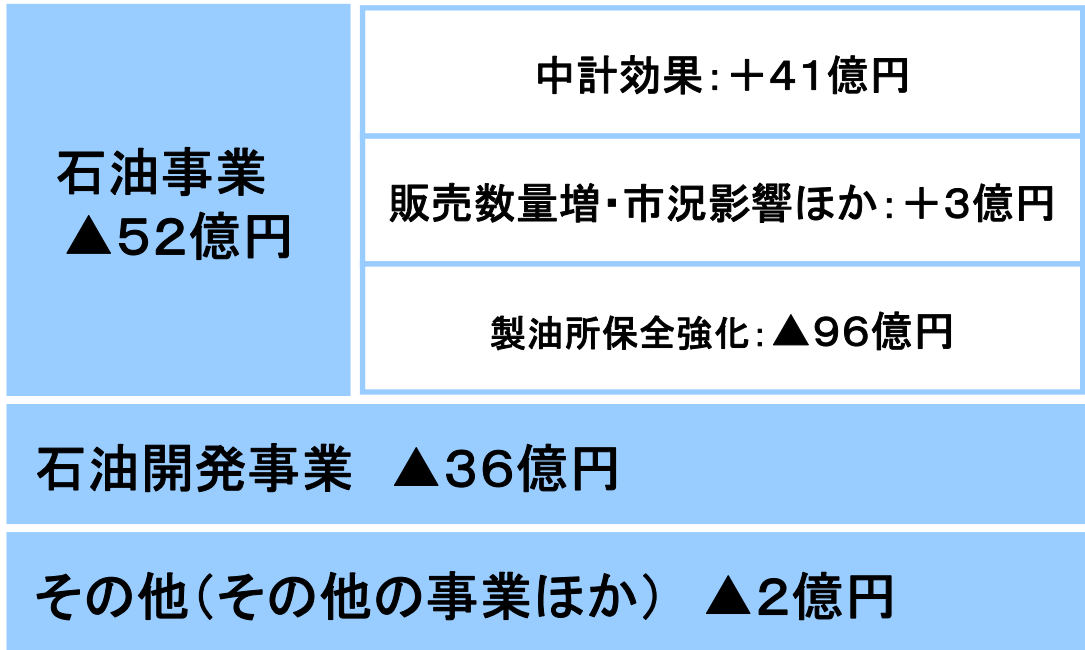
在庫影響含み
880
億円

在庫影響除き
630億円

07年度予想 財務指標

自己資本比率 26%程度、ネットD/Eレシオ 1倍程度

中計当初目標: 経常利益 820億円、株主資本比率 24.1%、ネットD/Eレシオ 1.3倍



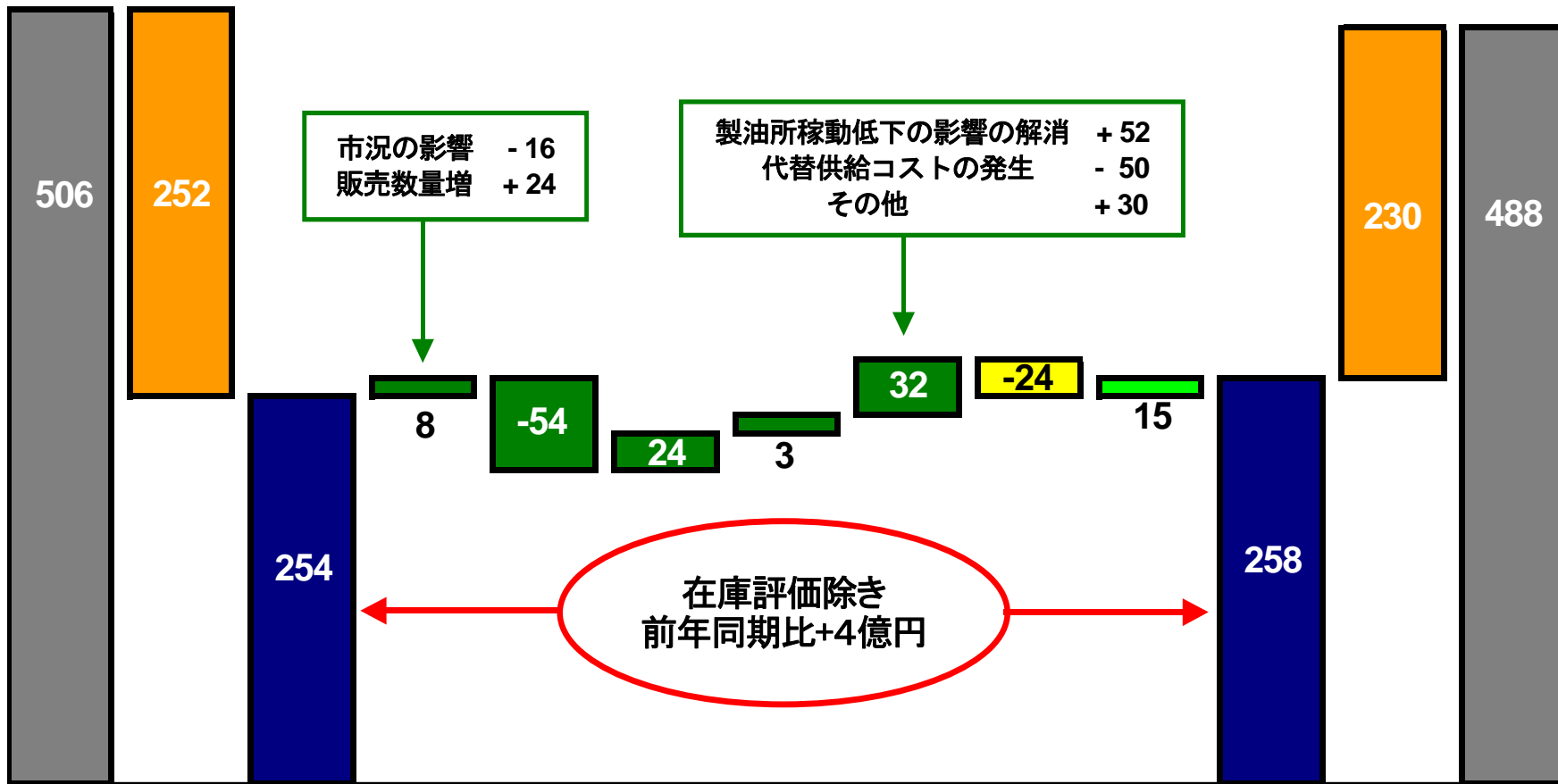
	07年度上期	前年同期比
連結経常利益	488億円	△18億円
在庫評価の影響	230億円	△22億円
連結経常利益 (在庫評価の影響除き)	258億円	+4億円

セグメント別内訳

	経常利益(在庫評価除き)	前年同期比
石油事業	69億円	+13億円
石油開発事業	219億円	△24億円
その他	△30億円	+15億円

【07年度上期決算】連結経常利益 前年同期比 増減分析

単位：億円



2006年度 上期 実績			2007年度 上期 実績									
経常利益	在庫評価の影響	在庫評価除き経常利益	石油事業					石油開発	その他	在庫評価除き経常利益	在庫評価の影響	経常利益
			市況影響・販売数量	製油所保全強化	新中計効果	石油化学	その他					

【07年度上期決算】連結 C/F および B/Sの概要

	実績	前期末(07/3月末)比
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 410	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 154	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	86	-
期末のキャッシュ残高	789	△ 472

単位:億円

	実績	前期末(07/3月末)	増減
総資産	16,341	15,792	549
純資産	3,748	3,616	132
自己資本	3,512	3,397	115
自己資本比率	21.5%	21.5%	-
有利子負債(ゼロクーポン社債を含む)	6,225	6,099	126
有利子負債依存度	38.1%	38.6%	0.5ポイント改善
D/Eレシオ(倍)	1.8	1.8	-
ネット有利子負債(ゼロクーポン社債を含む)※	5,436	4,838	598
有利子負債依存度	33.3%	30.6%	2.7ポイント悪化
D/Eレシオ(倍)	1.5	1.4	0.1ポイント悪化

※有利子負債総額から現預金および短期運用資金残高を控除したもの

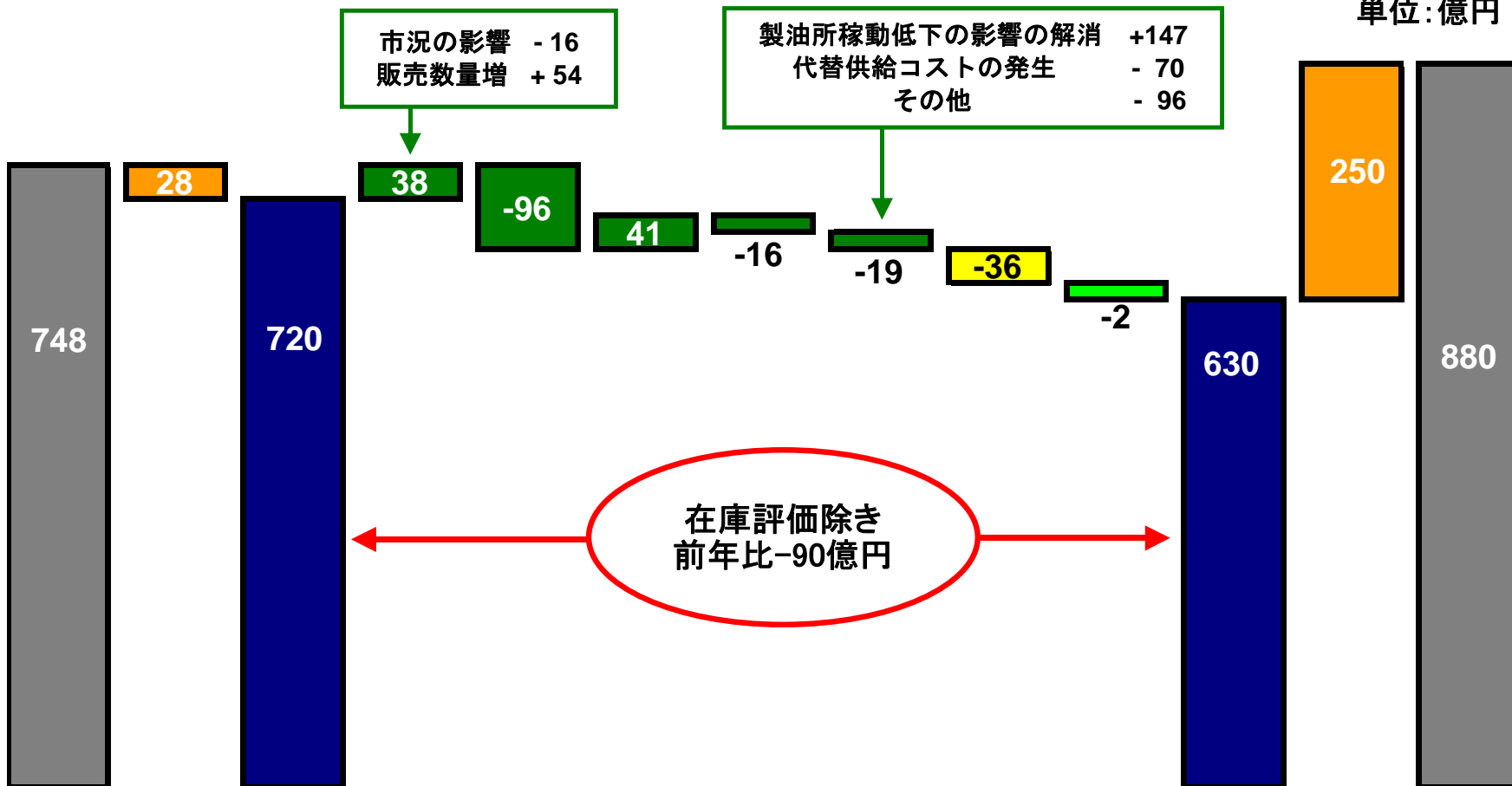
	07年度通期	前年比
連結経常利益	880億円	+132億円
在庫評価の影響	250億円	+222億円
連結経常利益 (在庫評価の影響除き)	630億円	△90億円



セグメント別内訳		
	経常利益(在庫評価除き)	前年比
石油事業	190億円	△52億円
石油開発事業	450億円	△36億円
その他	△10億円	△ 2億円

【07年度通期業績予想】②連結経常利益 前年比 増減分析

単位: 億円



在庫評価除き
前年比-90億円

2006年度通期 実績			2007年度通期 今回公表									
経常利益	在庫評価の影響	在庫評価除き経常利益	石油事業					石油開発	その他	在庫評価除き経常利益	在庫評価の影響	経常利益
			市況影響・販売数量	製油所保全強化	新中計効果	石油化学	その他					

【07年度通期見通し】

<設備投資・減価償却費>

	07通期見通	前年比
設備投資	639	278
減価償却費等	429	51

<設備投資:セグメント別>

単位:億円

	07通期見通	06通期実績	前年比
石油事業	470	278	192
石油精製・販売	(425)	(257)	(168)
石油化学	(13)	(17)	(△4)
その他	(32)	(4)	(28)
石油開発事業	167	82	85
その他の事業	2	1	1
合計	639	361	278

【07年度中間実績】

<設備投資・減価償却費>

	実績	前年同期比
設備投資	174	10
減価償却費等	210	34

基本方針

安定した経営基盤の確立

- ①収益基盤の強化
- ②財務体質の強化

成長戦略への転換

- ①製油所収益力の強化
- ②事業領域拡大



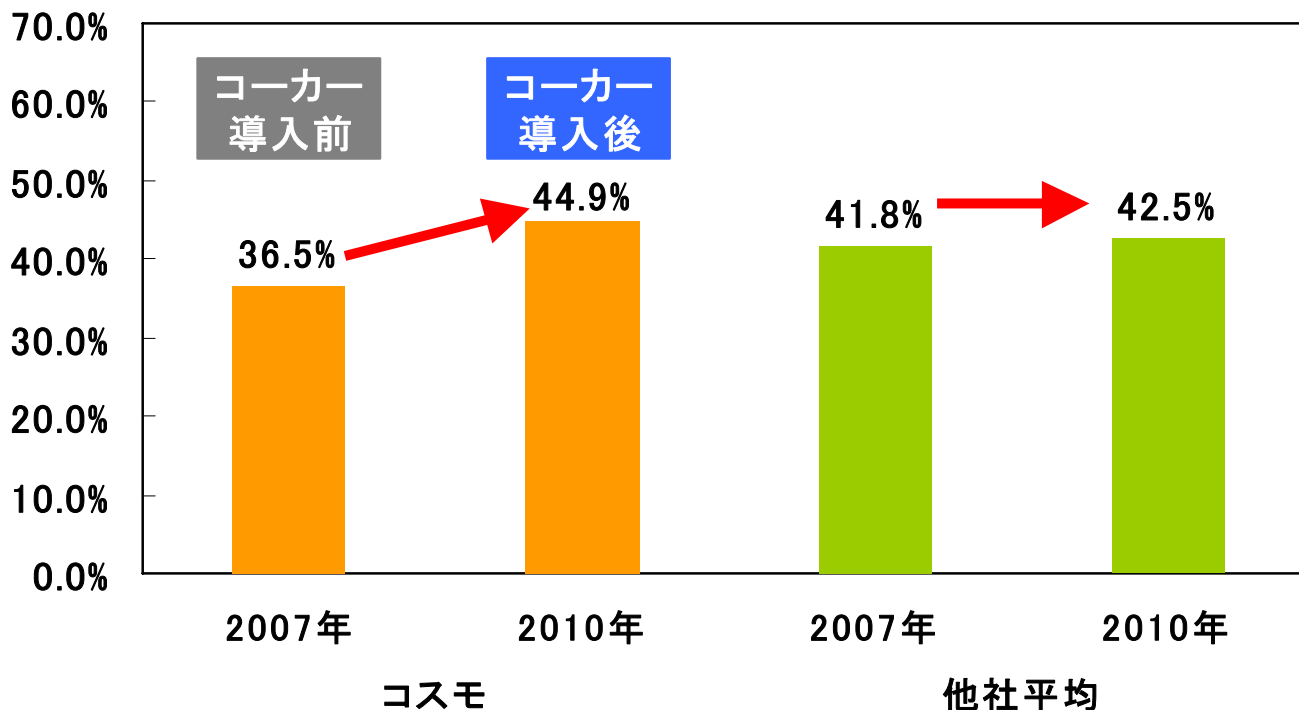
次期中計以降での
更なる成長への布石

- ◆堺製油所高度化投資決定
- ◆輸出規模拡大の取り組み
- ◆原油生産量拡大の取り組み
- ◆CMアロマでのMX生産開始

当社コーカー稼動後の分解能力

◆2010年度のコーカー運転開始により、当社の分解能力は他社平均を上回るレベルへ

ボトム分解※
装備率の比較



※トッパー能力に対する分解装置(FCC、熱分解、水素化分解、直接脱硫装置)の装備率

2010年の他社平均は各社の公開情報を元に当社試算

中間留分輸出
の
位置付け

- ◆国内の石油製品総需要減少に対応
- ◆堺製油所のコーカー稼動に伴う製品の販路確保

世界の石油製品
需要増を視野に

◆輸出インフラの増強計画

- ・200万KL/年（2007年度） ⇒ 400万KL/年 程度
（2010年頃＝コーカー運転開始以降）

◆環境規制の厳しい市場をターゲットに安定的な海外販路獲得

- ・オセアニア市場 : タームを中心にFOBでの輸出
- ・米西海岸市場 : 米国内でのカーブ軽油(*)卸売り事業へ参入

(*)California Air Resources Board)

輸出の
実績・計画

	06年度	07年度上期	07年度計画
軽油	944	640	1,230
ジェット	102	230	270
計(千KL)	1,046	870	1,500

◆06年度

豪州・米国向けを中心に
内需中間留分(灯・軽)の
約14%相当を輸出。

◆07年度

従来のタームに加え、米国内での卸売り事業開始。
当面 40~60万KL/年

環境認識 (2007-12年)

- ◆世界の石油製品需要は今後も堅調な伸び
- ◆北米、アジア／太平洋では輸送燃料（ガソリン、軽油、ジェット）が需要を牽引
- ◆中東・中国を中心に新規製油所が建設される見込みであるが、建設費の高騰等による計画の遅れ、中止の可能性もあり

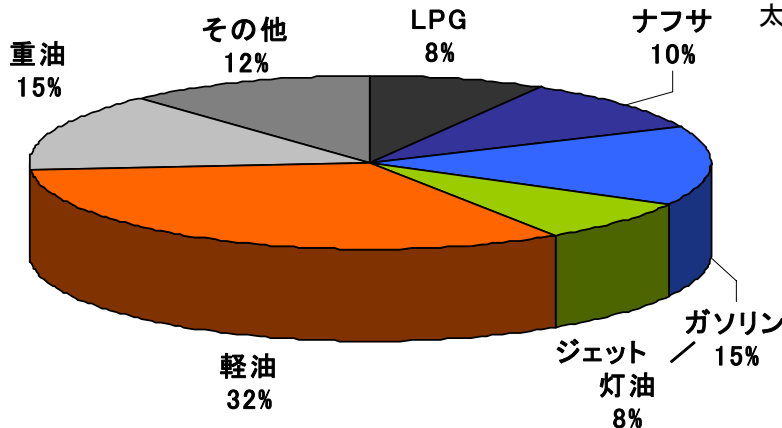
単位：百万B/D

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
アフリカ	3.1	3.1	3.2	3.3	3.5	3.6
アメリカ	31.2	31.7	32.2	32.7	33.1	33.6
伸び率(前年比)	2.1%	1.6%	1.6%	1.6%	1.2%	1.5%
アジア／太平洋	25.1	26.0	26.7	27.5	28.2	29.1
伸び率(前年比)	2.8%	3.6%	2.7%	3.0%	2.5%	3.2%
ヨーロッパ	16.2	16.4	16.5	16.6	16.7	16.8
旧ソ連	4.0	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5
中東	6.6	6.9	7.2	7.5	7.9	8.2
世界計	86.2	88.2	90.0	91.9	93.8	95.8
伸び率(前年比)	2.0%	2.5%	2.0%	2.1%	2.1%	2.1%

アジア：中国、インド、インドネシア、シンガポール、タイ、台湾他
太平洋：豪州、日本、韓国、ニュージーランド

世界の石油需要 の見通し

アジアの 製品別需要構成 (2012年)



出典：IEA

カタール石油
開発（株）
での増産

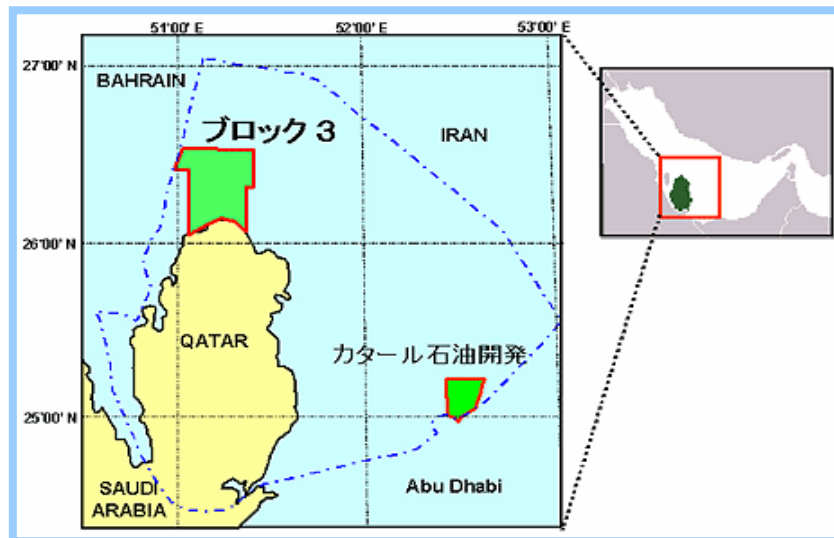
◆2007年度中に10,000B/Dへ 増産予定

カタール
新規案件
(10月25日発表)

◆カタール ブロック 3 鉱区での探鉱生産分与契約に調印

・ 共同事業者	コスモエネルギー開発株式会社	35%
	ウィンターシャル社	40%
	プルタミナ社	25%
・ 契約形態	探鉱生産分与契約	
・ 契約期間	2032年まで	

中長期的には
自主開発比率
10%を目指す



補足資料

1. 【実績・通期業績予想前提】 原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量
2. 【実績・通期業績予想前提】 販売価格・数量
3. 【実績・見通し】 石油単体 中計進捗総括表
4. 【07年度中間決算】セグメント別実績：前年同期比
5. 【07年度通期業績予想】セグメント別予想：前年比
6. 【07年度通期業績予想】セグメント別予想：公表比
7. 【07年度中間決算】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移
8. 【07年度中間決算】セルフSS展開／ザ・カード発券状況
9. 【参考資料】ミックスキシレン(MX)市況の推移

【実績・通期業績予想前提】原油コスト・処理量、稼働率、原油生産数量

補足1

<<原油コスト・処理量、稼働率>>

		07中間実績	前年同期比		通期前提
受入原油	原油(FOB)\$/BBL	66.73	0.80	—	70.00 (下期)
	為替レート¥/\$	119.81	4.11	—	120.00 (下期)
	受入原油代(税込)¥/KL	53,713	2,388	—	—
原油処理	原油処理量千KL	13,686	△ 830	94.3%	108.3% (前年比)
	トッパー稼働率 (CD)	74.1%	△ 9.7%	—	—
	トッパー稼働率 (SD) ※1	86.2%	△ 8.3%	—	—

※1 SD 定期整備等の影響を除いた稼働率

<<原油生産数量>>

		07中間実績	出資比率
石油開発会社生産量※2	アブダビ石油(B/D)	23,060	63.0%
	カタール石油開発(B/D)	5,628	85.8%
	合同石油開発(B/D)	17,211	35.0%

※2 生産量 プロジェクト会社の期中平均生産量。
12月決算会社のため生産期間は1-6月

【実績・通期業績予想前提】販売価格・数量

補足2

<<販売価格>>

	07年度中間実績	前年同期	前年同期比
販売価格(円/KL)	58,600	52,140	6,460

<<販売数量>>

	07年度中間実績	前年同期比	通期前提(前年比)
国内販売数量	ガソリン	102.6%	102.4%
	灯油	88.0%	100.6%
	軽油	102.2%	101.1%
	A重油	77.3%	82.1%
	4品計	96.1%	98.1%
	ナフサ	103.6%	98.6%
	ジェット	112.3%	99.8%
	C重油	122.3%	129.9%
	内需燃料油	101.0%	101.3%
輸出数量	中間留分計	145.4%	142.9%
総販売数量		100.2%	101.4%

【実績・見通し】石油単体 中計進捗総括表

補足3

項目	部門	2007年度上期実績			2007年度 下期 見通し	2007年度 通期 見通し
		上期 前回公表	上期 実績	前回 公表比		
		(億円)	(億円)	(%)	(億円)	(億円)
合理化	供給	0	0	—	0	0
	販売	5	5	96%	2	7
	管理他	1	1	105%	1	2
	小計	6	6	99%	3	9
付加価値 向上	供給	3	3	89%	3	6
	販売	16	15	98%	13	28
	その他	0	0	—	-2	-2
	小計	19	18	95%	14	32
総合計		25	24	96%	17	41

【07年度中間決算】セグメント別実績：前年同期比

補足4

<<セグメント別実績>>

単位：億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価影響除き)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
石油事業	15,646	1,303	281	△ 22	299	△ 9	69	13
石油開発事業	358	△ 34	182	△ 44	219	△ 24	219	△ 24
その他の事業	390	4	8	4	10	3	10	3
消去他	△ 383	43	△ 36	11	△ 40	12	△ 40	12
合計	16,011	1,316	435	△ 51	488	△ 18	258	4

※ 石油事業の内に、石油化学会社の経常利益60億円（前年同期比+3億円）を含む。

- 石油事業 : コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他
 内、石油化学 : コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)
 石油開発事業 : アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
 その他の事業 : コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス他

【07年度通期業績予想】セグメント別予想:前年比

<<セグメント別業績予想>>

単位:億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価影響除き)	
		前年比		前年比		前年比		前年比
石油事業	33,870	4,025	440	183	440	170	190	△ 52
石油開発事業	790	9	420	△ 15	450	△ 36	450	△ 36
その他の事業	880	25	20	4	20	3	20	3
消去他	△ 840	14	△ 30	△ 18	△ 30	△ 5	△ 30	△ 5
合計	34,700	4,073	850	154	880	132	630	△ 90

※ 石油事業の内に、石油化学会社の経常利益104億円（前年比△16億円）を含む。

- 石油事業 : コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他
 内、石油化学 : コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)
 石油開発事業 : アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
 その他の事業 : コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス他

【07年度通期業績予想】セグメント別予想: 前回公表比

補足6

<<セグメント別業績予想>>

単位: 億円

	売上高		営業利益		経常利益		経常利益 (在庫評価影響除き)	
		前回公表比		前回公表比		前回公表比		前回公表比
石油事業	33,870	3,090	440	△ 20	440	12	190	△ 128
石油開発事業	790	40	420	0	450	△ 10	450	△ 10
その他の事業	880	10	20	0	20	△ 1	20	△ 1
消去他	△ 840	△ 40	△ 30	△ 20	△ 30	△ 1	△ 30	△ 1
合計	34,700	3,100	850	△ 40	880	0	630	△ 140

※ 石油事業の内に、石油化学会社の経常利益104億円（前回公表比+14億円）を含む。

- 石油事業 : コスモ石油、コスモ石油販売、コスモ石油ガス、コスモ石油ルブリカンツ他
 内、石油化学 : コスモ松山石油、CMアロマ、丸善石油化学(持分法適用会社)
 石油開発事業 : アブダビ石油、カタール石油開発、合同石油開発(持分法適用会社)他
 その他の事業 : コスモエンジニアリング、コスモトレードアンドサービス他

【07年度中間決算】人員数、油槽所数、SS数、カード枚数推移

補足7

人員数推移

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末	07/9末
石油単体	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,764	1,729	1,718	1,916	1,956
グループ	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,565	3,480	3,451	3,335	3,344
※グループ:石油単体+出向										

油槽所数推移

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末	07/9末
DT数	52	45	41	39	39	38	38	38	38	38

SS数推移(可搬式を含む)

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末	07/9末
社有	1,105	1,065	1,010	977	959	930	899	886	901	888
自己	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,112	3,912	3,760	3,515	3,404
合計	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,042	4,811	4,646	4,416	4,292

上記のうち、セルフSS数及びAuto B-CleSS数

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末	07/9末
セルフ	5	8	23	109	285	398	483	626	789	838
Auto B-Cle	-	-	-	217	428	652	652	469	445	434

コスモ・ザ・カード枚数推移(07年3月末以降はオーパスも含む数値)

	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	04/3末	05/3末	06/3末	07/3末	07/9末
有効枚数(万枚)	135	146	162	185	213	239	242	255	280	291

【07年度中間決算】セルフSS展開／ザ・カード発券状況

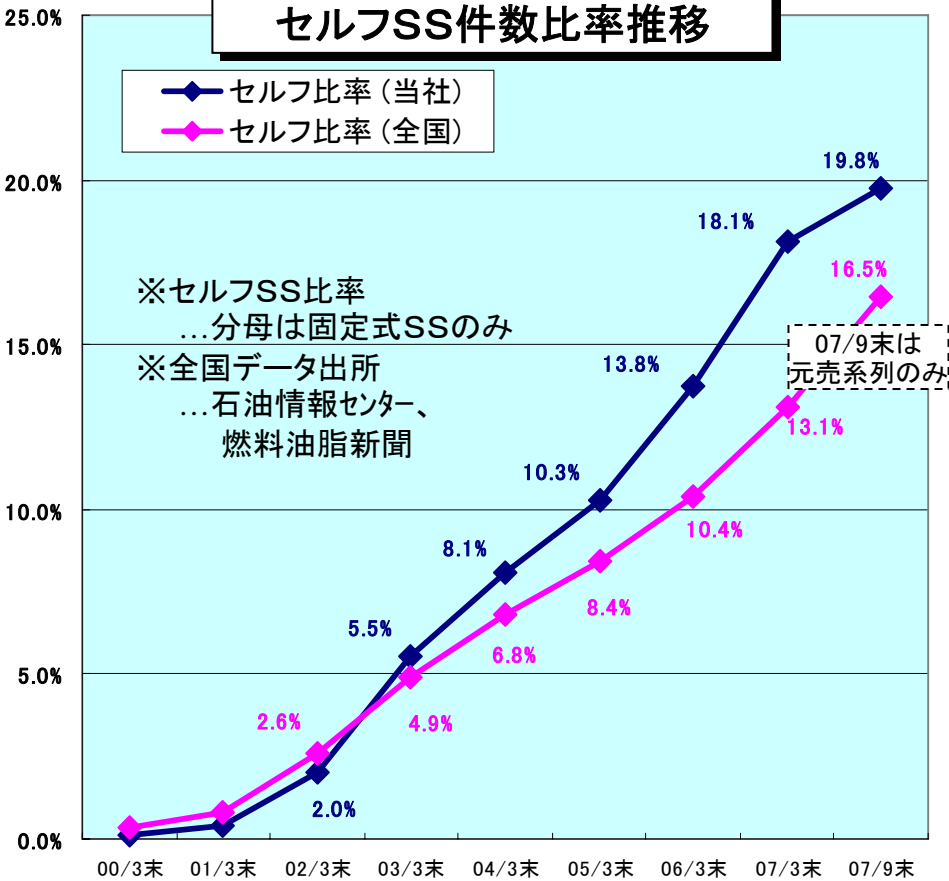
セルフSS展開

07年度上期末現在:838SS
 (07年度上期展開数...49SS)
 セルフSS比率...19.8%

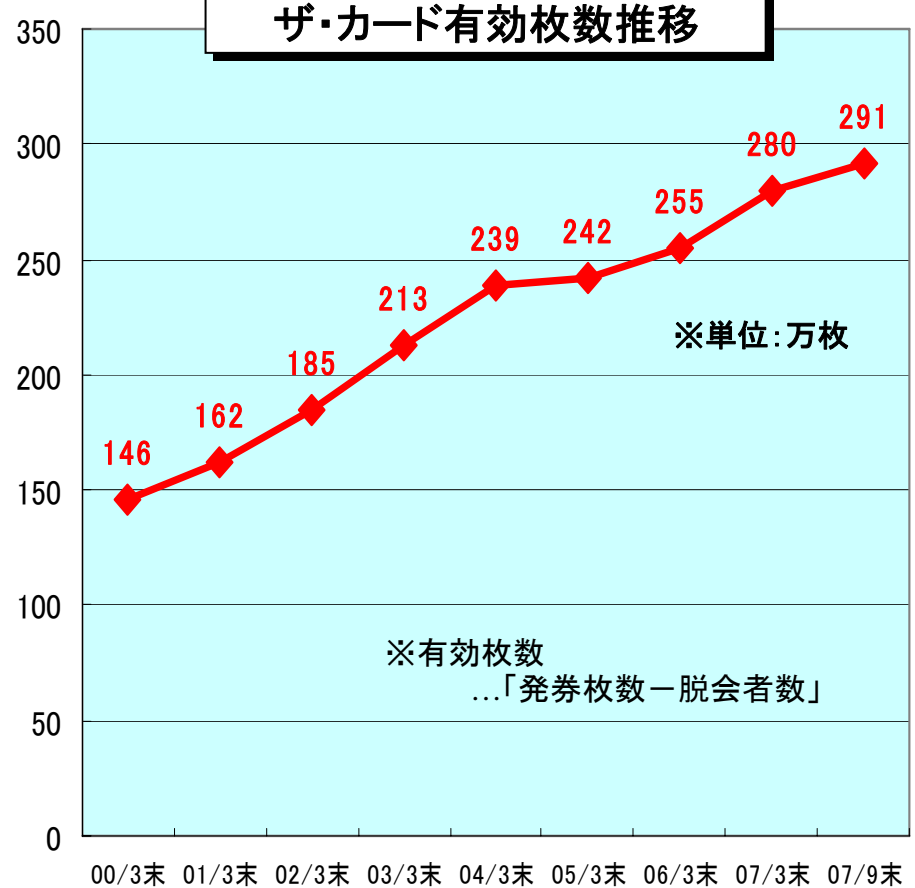
ザ・カード発券

07年度上期末現在:291万枚
 (07年度上期増加数...11万枚)

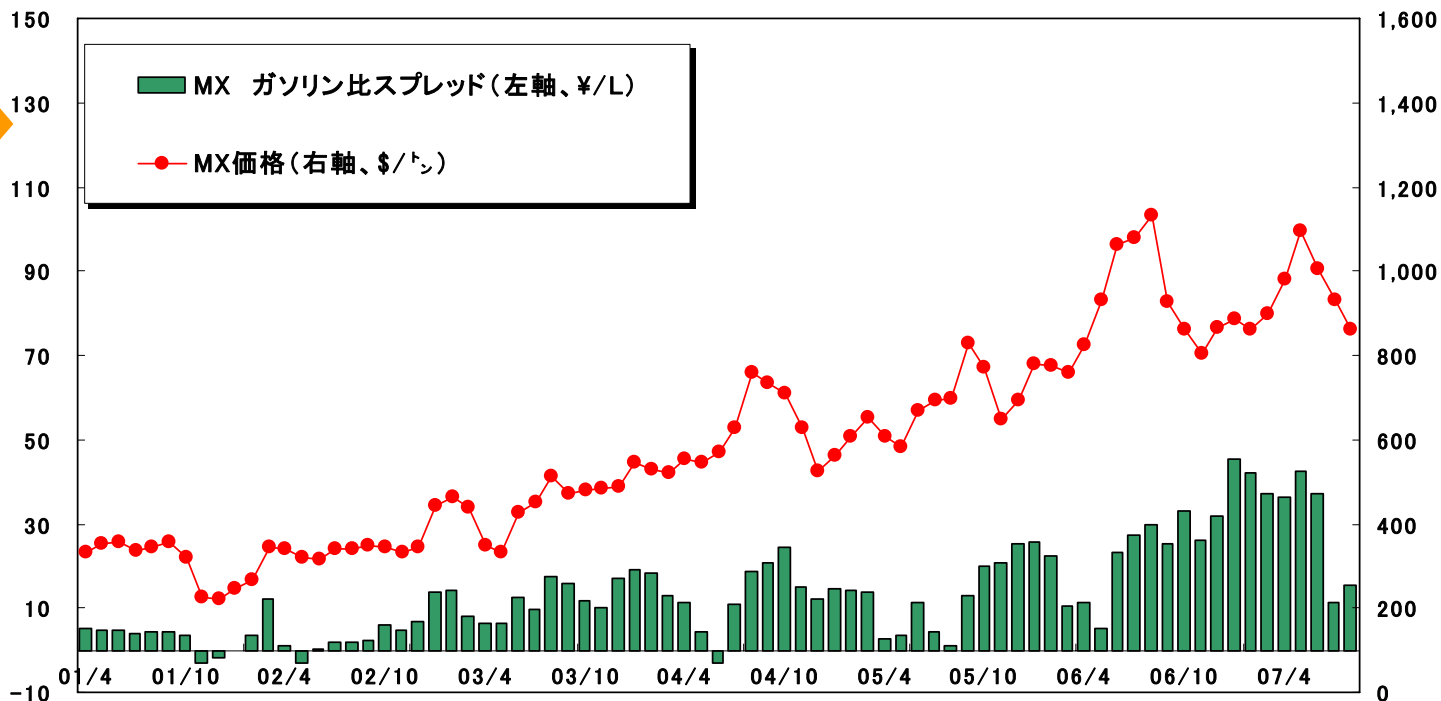
セルフSS件数比率推移



ザ・カード有効枚数推移



MX市況の推移 (01/4~07/8)



出典:
 MX: Platt's,
 韓国FOB
 MG : 財務省・RIM

ミックスキシレンのスプレッド

◆ミックスキシレン (MX) のガソリン (MG) 比のスプレッド

単位: ¥/L

	01年	02年	03年	04年	05年	06年
スプレッド (MX-MG)	2.9	3.1	11.9	13.8	12.1	22.7

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。